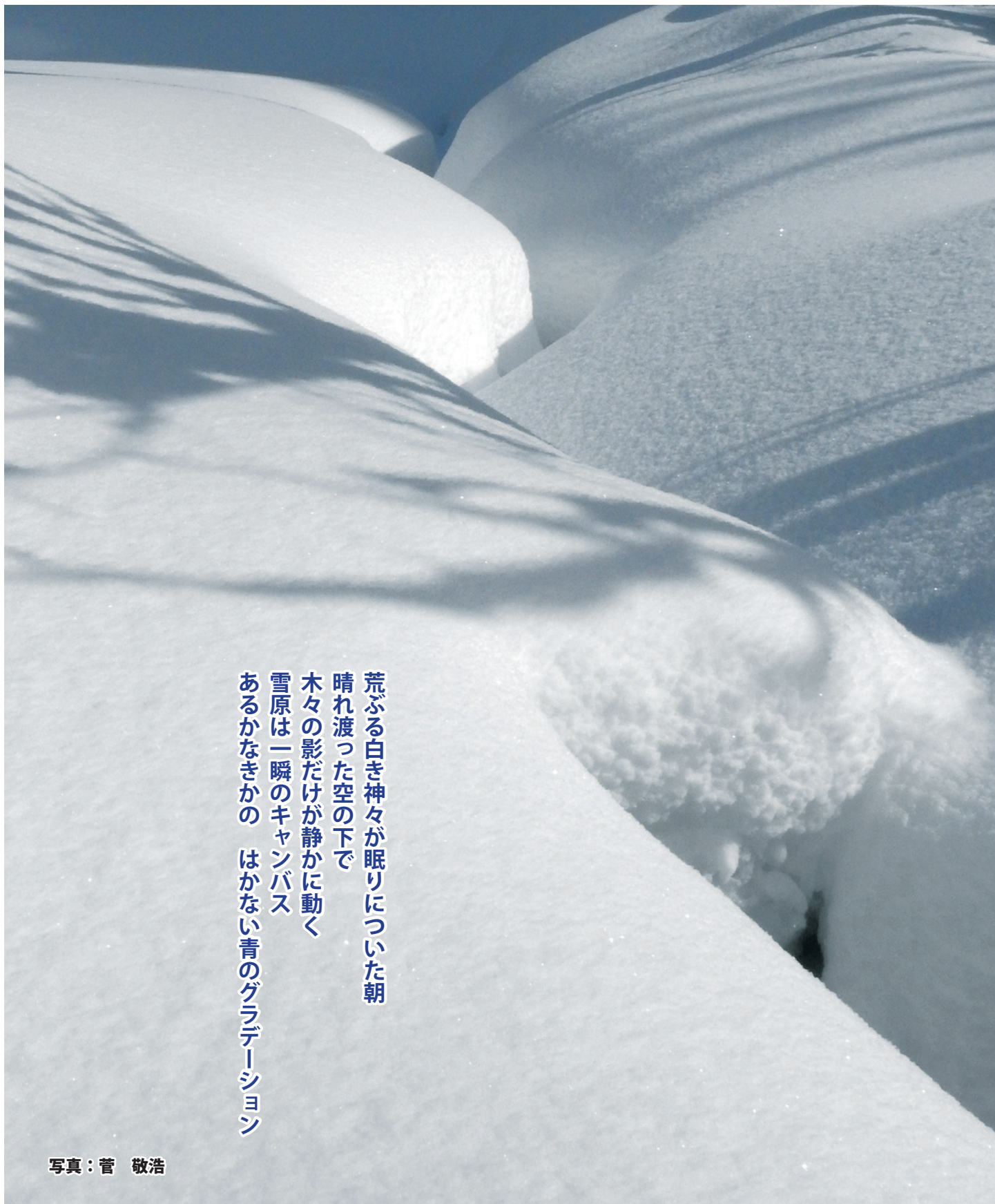


# 奥会津だより



荒ぶる白き神々が眠りについた朝  
晴れ渡った空の下で  
木々の影だけが静かに動く  
雪原は一瞬のキャンバス  
あるかなきかの はかない青のグラデーシヨン

写真：菅 敬浩

# 団子さし

三島町立三島小学校 五年 五十嵐 望



この写真は、五十年位前の「団子さし」をしている兄弟の写真です。真剣な表情で「団子さし」をしている子どもは、ほくのお父さんとおじさんです。

小判、米だらわら、たい、えびす様、大黒様などをかたどった「ふなせんべい」のかざりをつるし、一年の五こく豊じょうや家内安全を願っています。今では食紅を使って色あざやかな団子や、ふなせんべいをつるしているのですが、ずっと昔は白い団子とそば団子をしてきたそうです。

ほくも、毎年一月十五日に団子さしをしています。お父さんが小さいころからしてきた団子さしの行事を、今度はほくが引きついでいるのを、この写真を見て知ることができました。長い間大切に受けつがれている団子さしの行事を、ほくもずっと守り続けて行きたいと思いました。

聞いた人  
五十嵐 住江  
(ほくのおばあちゃん)  
五十嵐 五郎  
(ほくのおじいちゃん)

## 取材ノート

祖父：五十嵐 五郎さん  
(昭和十四年生 七十八歳)  
祖母：五十嵐 住江さん  
(昭和十一年生 八十一歳)  
孫：五十嵐 望君  
(平成十八年生 十一歳)  
(三島小六年)



Q：お父さんはおじさんとの二人兄弟。望君は何人兄弟ですか？  
望君：お姉ちゃん二人。大学一年生で、東京にいます。  
Q：春、進学して東京に行ったのですね。  
望君：はい、さびしい……。  
五郎さん：お姉ちゃん、若松の高校だったから、何回も送っていったことがあったなあ。

Q：団子さしは、ミス木(ミスノキ)に付ける。赤いミス木を受験のお守りにしませんでしたか？  
望君：「ふなせんべい」は、どこで買ったのですか？  
住江さん：ヌノカワとか、ヤマモ商店、ブナヤ商店……。  
Q：小正月は、「道具の正月」と言いませんか？  
五郎さん：アワボの木に、ソバ団子でクワとかナタ、カマを作つて、木にさした。いつも世話になつている道具だからな。昭和三十五年頃までやってたかなあ。

Q：団子さしの頃の天気はどうでしたか？  
五郎さん：わりあい良かったな。前の日十四日、坂下の初市の

五郎さん：それは、あった。枝をわら半紙とか紙に包んで受験の前まで置いておく。自分の高校受験の時にやった。当時、高校出たのもあまりいなかっただけだな。会農(会津農林高校)は、柳津・宮下・西山分校があつて、宮下分校には一五〇人ぐらいいた。  
Q：分校までは、どうやって行ったのですか？  
五郎さん：自転車十五分ぐらい。冬は、歩き。あの頃、道路は舗装してない砂利道だからな、どこにどれくらいワボレ(穴)があるかみんなわかつていた。それ避けて通つた。

## 奥会津の生き物 〈ホンDIGツネ〉 写真・文：新国 勇



冬になると、エサを得やすい人家付近にやってくる。軒下や水路沿いの雪上に、足跡を一直線に残すので、すぐにそれとわかる。首の口と明け方によく活動する。肉食と思われているが、雑食で果実などの植物質も食べる。

日に雪の時が多かった。十五日は、サイノカミの日。  
Q：団子を茹でた汁を使いましたか？  
住江さん：使つた。茹で汁を松の葉につけて、「アブラムシクンナヨ、デンプラムシモクンナヨ」って言いながら、ウチ(家)の周りをカンジキはいて右回りに歩いた。今は、やらなくなつてしまつたなあ。  
Q：望君、じいちゃんやばあちゃんから話を聞いてひとこと。  
望君：三島町の伝統文化を無くさないように努力して守っていききたいな、と思います。  
五郎さん：いいなあ……。 写真・文責：菅 敬浩

広い野原では、なぜか作りたくなる雪だるま。ソリやスキーと共に冬の遊びの定番だが、ころがすと大きくなっていく雪の塊に魅せられる。枯れ枝を挿してどうやら「ネコ」のようだ。



## 野山で遊ぶ

〈雪ネコ〉

## 雪下ろし



屋根と雪がつながった。屋根先の雪を割り、氷と化した厚い雪を下ろすのは極めて危険な作業だ。毎年、雪下ろしで命を落とされる方が絶えない。この作業は必ず二人以上で慎重に行われる。真っ赤な足カバーも目立たせるための色。

## 暮らしの道具

写真・文 竹島善一



### コーシキベラとカンジキ

コーシキベラと呼ばれる除雪道具は今でも使われる。屋根の雪下ろしには、シャベルよりもこのほうが理にかなっている。

身動きが取れない不自由な萱屋根の上で、長い柄は遠くまで手が届く。ヘラの側面で深い雪に筋目を入れ雪の底をしゃくれば、雪は屋根から滑り降りてくれる。深い雪を踏みしめるには、カンジキは必需品だ。

(平成十六年二月 南会津町舘岩)

## 奥会津の食材と料理



塩ウドの煮物

緑の野菜が恋しくなる雪の日々のために、春に塩漬けしておいたウド。塩抜きをしてニンジンと炊き合わせる。お正月の祝いの膳にも登場して彩を添える。

## 奥会津の鳥

〈クマタカ〉

写真・文：新国 勇



森林にすむ大型のタカ。獲物はノウサギ、ヤマドリ、ヘビなど。警戒心がつよく人里にはけっして近寄りなかったが、最近、庭で放し飼いにされているニワトリを襲う例が増えた。クマタカも人間をこわらない新世代が現われたようだ。世界的には分布域の狭い貴重種で絶滅危惧種とされているが、奥会津では比較的よく見られる。

# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「ワボレ」

ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で10名様に、只見町のクロモジ著 & 楊枝」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2018年2月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号103号で発表いたします。



◎101号「こだごと」の答え：こんなこと

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



●道の駅で目に付いた「奥会津だより」を持ち帰り、ゆっくりと読みました。知らなかった奥会津の魅力を感じました。(新潟県新発田市：T.Kさん)

●101号の表紙の写真と文、すばらしいです。奥会津だよりは私にとって心のオアシスです。(栃木県那須町：S.Tさん)

●正座して奥会津だよりを読みました。特に、炭作りの苦労話に仕事の大変さが分かりました。当時の伐採に、アメリカ製のチェーンソーも使用していたのには正直驚きました。(宮城県山元町：O.Mさん)

●どの記事も新鮮に見えるのはなんなのでしょうかね。ネタの泉は尽きることはないですよ。(神奈川県海老名市：B.Kさん)

●少ない紙面で豊かな情報を伝えてください。カラーの使い方も上品でしかも読みやすいです。有難う。(東京都：K.Kさん)

●震災前まで炭窯がありました、つぶれてしまいそのままです。炭は今とても貴重なので、主人と二人で炭を作っていました。(郡山市：I.Nさん)

奥会津だより  
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaiizu.net

奥会津振興センターからのお知らせ

## 第8回 歳時記の郷 奥会津 ブランドフェア

日 平成 30 年  
時 3月2日(金) 10:00 ~ 19:00 (予定)  
3月3日(土) 10:00 ~ 18:00 (予定)

会場 コラッセふくしま  
1階福島観光物産館(福島駅西口)

福島県奥会津の自然豊かな風土が育んだこだわりの逸品を多数販売・展示いたします。是非、奥会津を満喫しに会場へお越しください。

## 奥会津イベント情報

2月~3月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
2月3日(土) ~4日(日)	第38回会津やないづ冬まつり	柳津町	道の駅会津柳津	会津やないづ冬まつり実行委員会(柳津町観光商工班内) ☎0241-42-2114
2月10日(土)	第46回雪と火のまつり	三島町	三島町町民運動場	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
2月10日(土) ~11日(日)	第46回只見ふるさとの雪まつり	只見町	只見駅前広場	只見ふるさとの雪まつり実行委員会(只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
2月12日(月・祝)	第38回読売杯南郷スラローム大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
2月17日(土) ~18日(日)	第45回クロスカントリースキー 伊南杯	伊南地域	伊南クロスカントリースキーコース	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
2月18日(日)	第40回会津かねやま雪まつり	金山町	金山町民体育館グラウンド	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
2月25日(日)	第35回からむし織の里雪まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	からむし織の里雪まつり実行委員会 ☎0241-57-3700
3月4日(日)	ひな流し	三島町	高清水地区	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	第16回福島民報杯会津高原たかつえB級GSポイント大会	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
3月17日(土) ~18日(日)	第17回全国編み組工芸品展	三島町	三島町交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	第37回三島町生活工芸品展		三島町生活工芸館	
3月21日(水・祝)	第29回福島民報杯スノーボード 南郷CUP	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
	第8回 高畑スプリングレース	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎0241-76-2231
3月25日(日)	高畑スキー技術選手権大会			
3月31日(土)	2018林千春メモリアルSAF公認 記録会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	スキー大会事務局(檜枝岐村役場総務課内) ☎0241-75-2500



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：1月15日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaiizu.net ☎webmaster@okuaiizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。